



こしじ

12月
(No.93)

発行 / 越路町役場 (新潟県三島郡越路町) TEL 越路 (02589) 2-3111 ■ 印刷 / 大川印刷所



きれいになった町道

もうもうたる砂ぼこりと水溜りの多い悪路から立派な舗装道に生まれ変わりました。舗装工事も年々進んでいます。もうすぐ冬将軍がやってきます、寒く長い長い冬ごもりです道路の除雪には皆さんのご協力をお願いします。

今月の主な内容

- ▼昭和四十六年度決算状況
- ▼栄ある叙勲と表彰
- ▼町道舗装と県道改良工事
- ▼衆議院、参議院議員選挙
- ▼ごみの収集について
- ▼冬休み中の子供さんの生活指導について

町の人口

住民基本台帳人口 (10月末日現在)	2,960
世帯数	13,645
男性	6,625
女性	7,020
10月の住民移動状況	
出生数	12
死亡数	8
市内転入数	9
市内転出数	5
市内転入数	46
市内転出数	3
市内転入数	21
市内転出数	15
市内転入数	25
市内転出数	39

献血ありがとうございます

ございまして

三百四十七名が協力

今年も献血車「ゆうあい号」は三百四十七名の方々より献血を受けました。越路町の目標人数をほぼ達成することができました、お礼申し上げます。

浦 佐藤 豊栄 (32才)
浦 永井 徳一 (43才)
浦 丸山 一文 (32才)
浦 山崎 智則 (26才)
西谷 木曾 弘保 (25才)
岩田 金子 修 (23才)

十楽寺 横 清一 (40才)

秋の

文化祭行事成績

町民駅伝大会

全長二十七、四キロメートルのコースに参加十七チーム、選手総勢百八十九名により熱戦が展開された。なかでも、この大会史上はじめて、女性だけで編成された越路縫製チームの参加や、飯塚チームの男女混成チーム等、女性の進出がめざましく、大会に花をそえた。

大会記録は次のとおり。

○中学の部
優勝 越路中A 時間 22分
二位 越路中B 31分
三位 塚山中 31分

○一般の部
優勝 越路分校 1分
二位 岩塚製菓 1分
三位 浦青年会 1分
特別賞 越路縫製(女) 2分
飯塚 田中恵美子 3分
飯塚 中静光子 8分

の心配ごと相談は十二月十五日
行政苦情相談は十二月二十一日
お気軽においでください

町民囲碁大会

優勝 初段 大谷 勇
二位 二段 平井政博
三位 一段 平沢 享
四位 三段 熊倉康雄
五位 四段 大矢幸太郎

町民将棋大会

優勝 五十嵐誠治 (塚野山)
二位 西脇 覚 (浦)
三位 内藤 尚 (飯塚)

十二月の危険物

収集日程

十二月は降雪状況により変更になることがあります。
一月、二月は休ませていただきます。次の収集は三月に行ないます。

部落名	12月	部落名	12月
岩野	1日(金)	沢下条	6日(水)
釜ヶ島	〃	飯塚	〃
浦	〃	十楽寺	〃
神谷	2日(土)	中岩	7日(木)
中篠	〃	不動	〃
飯島	〃	不東	8日(金)
西野	〃	西野	9日(土)
中来	〃	塚野	〃
迎寺	3日(日)	小菅	〃
朝	〃		

ポストコーナー

年末の郵便物

は早めに

郵便番号は住所の一部です

1 おそくとも十二月十五日までに出してください。

2 荷造り、包装はしっかりと途中でこわれたり、中身が抜け落ちたりしないよう、ヒモは

忘れずに受けてください。

忘れずに受けてください。

種とう

会場	実施月日		時間	対象者
	1回	2回		
岩塚小学校	12月6日	12月13日	1.30~2.30	岩田 ①昭和45 小坂、菅沼 12. 1~
塚山中学校	12月6日	12月13日	1.30~2.30	東 浦、神谷、石 46. 11.
東谷小学校	12月7日	12月14日	2.00~3.00	浦、中之島 30出生者
浦区事務所	12月8日	12月15日	3.00~4.00	地区 入学前昭和41. 4
岩塚小学校	12月8日	12月15日	2.00~3.00	沢下条、飯塚、不動 2~42.
越路町役場	12月11日	12月18日	3.00~4.00	来迎寺 4. 1出
塚山中学校	12月11日	12月18日	2.00~3.00	朝西 谷山 生者

母子検診

会場	実施月日	時間	対象者
塚野山公民館	12月4日	2.00~3.30	乳児検診
岩田公民館	12月5日	2.00~3.00	
越路町役場	12月6日	3.00~4.30	
越路町役場	12月12日	3.00~4.00	



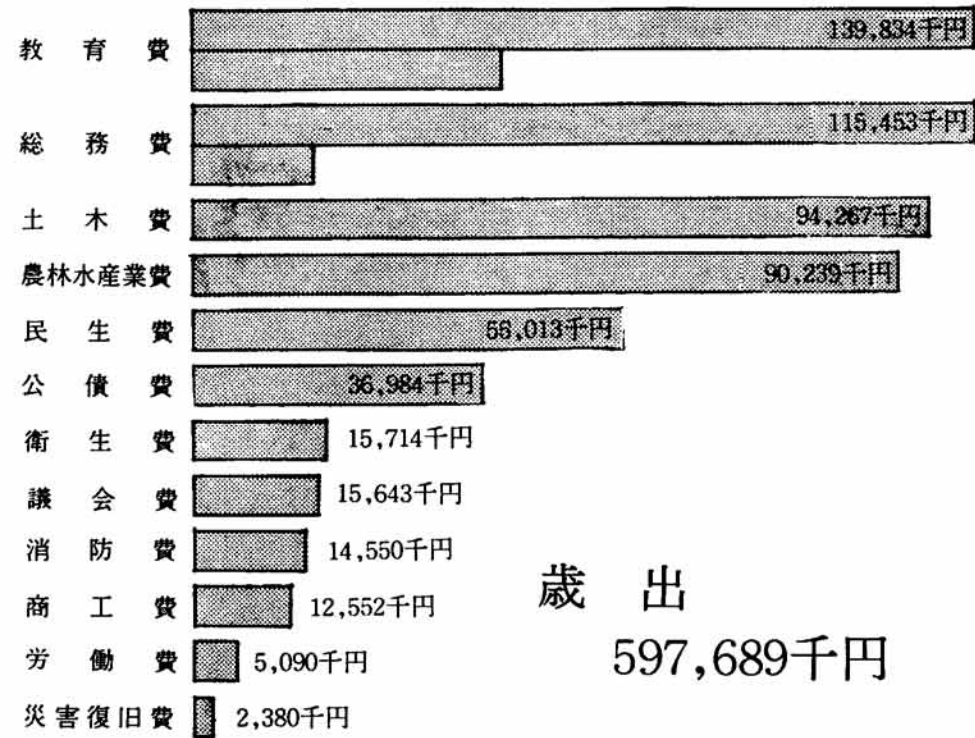
昭和46年度の決算状況

越路町告示第十七号

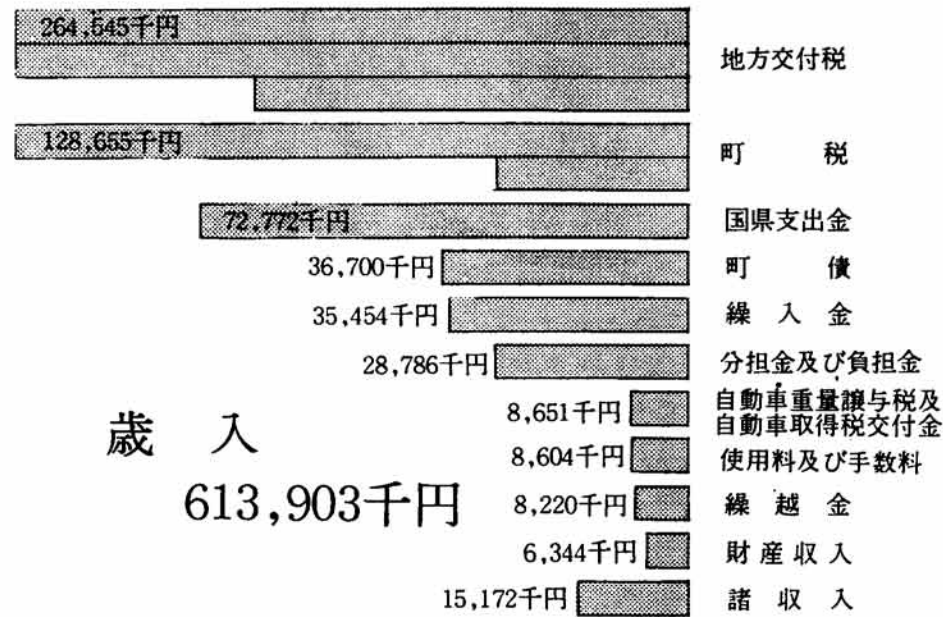
越路町財政事情を

次のように公表します

昭和四十七年十二月一日
越路町長 勝又 俊導



歳入



二 才入の状況

高は、財政調整基金千三百九十九万円、保育所建設基金千五百五十九万円、土地開発基金千五百五十九万円、土地開発基金千五百五十九万円とされており、債務負担行為(四十七年度以降に支出を約束したもの)の残高は、五千五百二十五万円となっております。

財政規模を前年度と比較すると才入十七・四%、才出十六・一%とそれぞれ伸長しており、才入において町税(五・九%)、地方交付税(二十九・八%)、繰入金(四十六・八%)、才出では人件費(二十・八%)、公債費(十五・一%)等義務的経費及び積立金、繰出金の伸びが目立っております。

以上あらましご説明申し上げます。とおり昭和四十六年度においてはドルショック等社会経済情勢に大きな変動があったにもかかわらず町財政は一応伸長し、黒字決算を達成しましたが町民各位のご要望を満たすには、ますます多額の経費を必要といたします。今後更に一層計画的、重点的な財政運営に努力する所存であります。

以下内容について若干説明を加えることといたします。

昭和四十六年度の予算現額六億一千二百二十五万円に対し調整額六億一千三百九十九万四千円で収入済額(決算額)六億一千三百九十萬三千円となり予算現額に対し二百六十七万八千円の収入増と

なりました。また収入未済額は九万一千円あります。

才入のうち金額的に最もウエイトの高いのは地方交付税の二億二千四百萬円で次に町税の一億二千八百萬円で、これだけで才入全体の六十四%以上を占めております。このほか国、県支出金が七千二百萬円、町債(長期借入金)三千

六百萬円、繰入金三千五百萬円等が主要な才入となっております。

才入の状況をグラフでご覧ください。

才入総額では、前年度より九千九百萬円増加し、町税、地方交付税の伸びと、越小屋体、保育所建設等による国、県支出金、農道整備事業に伴う地元分担金等の伸び

昭和四十六年度における越路町の決算は、さる九月の定例町議会で認定されましたので、昭和四十七年度上半期(四月/九月)の予算の執行状況とあわせてそのあらましをお知らせします。

一般会計

一 決算のあらまし

昭和四十六年度の一般会計は、当初四億六千八百八十二万八千円の規模でありましたが年度中五回の予算補正により最終予算規模は、六億一千二百二十五万五千円でありました。

これに対し、決算額は表一のとおりであり、才入才出差引額は、千六百二十一万四千円(黒字(実質収支)となり昭和四十七年度に繰り越しました。

昭和四十六年度の収支を一ケ年限りでみた場合(単年度収支という)才入の中に前年度の繰越金(実質収支)八百二十二万が入っているのをこれを差し引くと結局七百九十九万四千円(黒字)であり、

表1 決算収支状況 (単位千円)

区分	昭和45年度	昭和46年度	増減率
才入総額(A)	522,711	613,903	17.4%
才出総額(B)	514,491	597,689	16.1%
才入才出差引額(C)	8,220	16,214	97.2%
翌年度へ繰越すべき財源(A-B)	-	-	-
実質収支(D)	⑦	①	97.2%
単年度収支(E)	△17,789	⑦-①7,994	44.9%
繰上債還付金(F)	3,590	1,400	△61.0%
繰上債と積立金(G)	-	-	-
繰上債と積立金(H)	24,000	34,954	45.6%
実質単年度収支(I)	△38,199	△25,560	33.1%

が主体になっております。主要収入の推移を表二でみて下さい。

昭和四十六年度の町税収入は、一億二千八百六十五万五千円(才入全体に占める割合二十一%)で前年度の一億二千四百六十六万一千円(二十三%)と比べると七百九十九万四千円(六・三%)の増加とありますが、伸長率がや、低迷したことは、町民税所得割において標準税率に引き下げが行われたこと等が影響していると思っております。

表2 主要才入の伸長率 (%)

区分	43年度~44年度	44年度~45年度	45年度~46年度
町税	17.7	18.7	5.9
地方交付税	35.0	16.0	29.8
国県支出金	153.5	△28.6	10.1
繰越金	36.5	△42.9	△56.7
町債	156.1	△14.4	△5.8

表3 町税の内訳 (単位千円)

区分	昭和45年度		昭和46年度		増減率 ④-③ ③×100
	決算額⑦	構成比	決算額④	構成比	
個人分	32,376	26.7	31,542	24.6	△2.5%
法人分	14,271	11.7	15,287	11.9	7.1
固定資産税	48,881	40.2	52,042	40.4	6.4
軽自動車税	4,953	4.1	5,338	4.1	7.7
たばこ消費税	12,726	10.5	13,638	10.7	7.1
電気ガス税	7,661	6.3	8,530	6.6	11.3
鉱産税	451	0.4	922	0.8	104.4
木材引取税	58	-	40	-	△31.0
入湯税	84	0.1	98	-	16.6
都市計画税	-	-	1,218	0.9	皆増
合計	121,461	100	128,655	100	5.9
徴収率	100%		100%		

(5) 広報こしじ

昭和三十九年度一般会計決算の概要を説明いたしました。

昭和四十六年度の収支状況は、歳入歳出一億一千八百八十四万九千円、歳出総額一億二千三百三十九万四千円、差引七百六十万円の赤字となり、全額翌年度へ繰越いたしました。

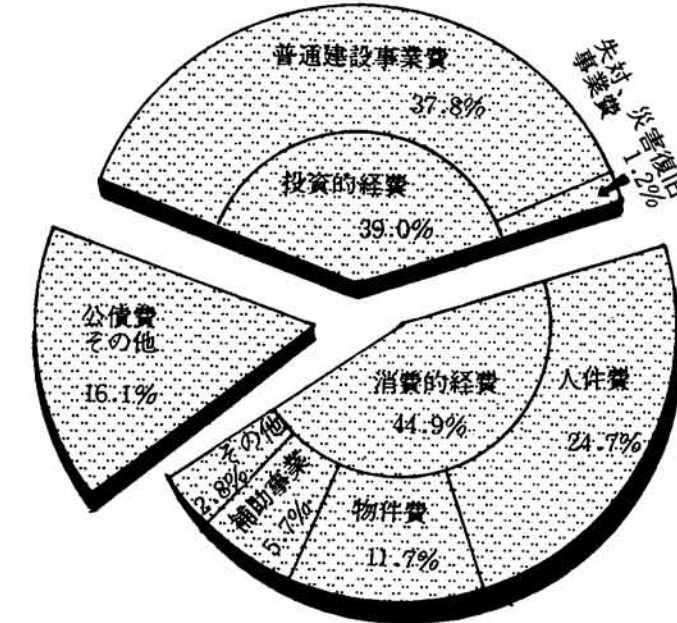
特別会計

国保会計

決算概況

表4 性別別才出の状況 (単位千円)

区 分	昭和45年度		昭和46年度		増 減 率 ④-③ ③
	決算額⑦	構成比	決算額④	構成比	
人件費	122,088	23.7%	147,525	24.7%	20.8%
物件費	64,572	12.6	69,955	11.7	8.3
維持補修費	11,905	2.3	13,262	2.2	11.3
扶助費	2,513	0.4	3,579	0.6	42.4
補助費等	30,770	6.0	34,253	5.7	11.3
公債費	32,114	6.2	36,984	6.2	15.1
積立金	3,590	0.7	36,400	6.1	1,013.9
投資出資貸付金	5,134	1.1	6,226	1.1	21.2
繰出金	1,000	0.2	16,500	2.7	1,650.0
普通建設事業費	234,167	45.5	226,033	37.8	△ 3.4
災害復旧事業費	1,578	0.3	2,380	0.4	50.8
失業対策費	5,060	1.0	4,592	0.8	△ 9.2
合 計	514,491	100	597,689	100	16.1



三 才出の状況

昭和四十六年度の才出決算は、五億九千七百六十八万九千九百四十九円で、前年度に比し、九十八%で予備費五百九十六万六千六百三十三円が不用額となり、才出決算額を前年度に比較すると八千三百三十九万六千六百三十三円(十六・一%)の増加であり、建設事業費の増大と給与改訂等に伴う人件費の増加等が主なものとなっております。

才出を款別(行政目的別)に分類すると二ページのグラフのようになります。

総務費は、前年度に比べ四十五万六千八百八十四円(六十五%)の増加となったのは、年度間財源調整の関係から基金(保育所建設)の積立て三千五百万円等があったためであります。

民生費は前年度に比べ三千四百八十六万六千六百三十三円(七十三%)と、これまで著しい増加となりましたが、山保育所の新設による建設費二千四百五十万円のほか運営費の新規増加等が主なものであります。

衛生費では、前年度比四百二十万四千三百三十九円(三十七%)の増加となっており、新たに発足した「し尿・ごみ」の共同処理をする長岡地区衛生処理組合の負担金三百五十万

昭和46年度の主な建設事業の概要 (単位千円)

事業名	事業費	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
塚山保育所建設事業	24,564	3,750	7,100	1,767	11,947
石津保育所改造事業	1,298			158	1,140
石津国有地購入	1,745				1,745
衛生排水事業助成(6件)	1,509				1,509
失業対策事業費	4,098	1,872			2,226
有放施設更新補助	1,320				1,320
県営農免道路負担金(2件)	4,748			1,252	3,496
飯場用水埋立補助	1,056				1,056
古川排水改良補助	1,283				1,283
農道整備事業(2件)	55,256	29,575		19,799	5,882
樹形山キャンプ場整備	1,430	700			730
道路、橋梁整備事業	48,217		16,100	3,842	28,375
都市計画街路助成	3,418				3,418
防火水槽建設事業(3基)	2,240	450		243	1,547
越路小学校建設事業	51,057	10,721	7,900		32,436
〃 プール建設	11,825	1,125	5,600	3,360	1,740
塚小グランド整備(用地)	6,224				6,224

円余りが含まれております。

農林水産業費も前年度に比し三千八百六十一万九千七百四十四円(七十四%)の増加となりましたが、国の補助による農道整備事業費(神谷岩野線、篠花飯島線)五千五百二十六万円等建設事業費が大巾に増加したことによるものであります。

土木費では県自治振興資金千六百万円の貸付けを受けた道路の改良舗装費四千八百二十万円の事業費が含まれております。

教育費は、前年度に比べ六千六百三十万円の減額となりましたが、小関係事業費がピークを越えたためであり、越小屋体、同プール、塚小グランド用地購入費等が含まれております。

才出経費をさらに性別別に検討すると、表四のとおりであります。性別別経費の内容は、金額的に、普通建設事業費が全体の三十七%でトップであり、次いで人件費二十四%、物件費十一%となっており、この三者で才出総額の七十二%以上を占めております。

さらに各経費の増減率では、前年度に比べ人件費(二十%)、物件費(八%)、公債費(十五%)がそれぞれ大きく伸長し、特別な財政措置としての積立金、繰出金は十ないし十六倍の増加率となり、普通建設事業費、失対事業費等は、若干の減額となっております。

才出内容を構造的にみた場合、グラフに示すとおり町勢伸長の基礎となる投資的経費が三十九%となり、人件費、物件費等いわゆる消費的経費は、四十四%とな

国民健康保険事業会計 (単位千円)

区 分	決算額(7)	前年度決算額(4)	差 引(7)-(4)
歳 入	120,994	115,579	5,415
歳 出	113,394	105,153	8,241
差 引	7,600	10,426	2,826

二 歳 入

歳入総額を前年度と比較してみますと約四・七%の増加を示しております。歳入で主なもの、保険料四千二百四十四万三千円と国庫料四千二百四十四万六千円とで支出金六千四百六十六万六千円、それぞれ歳入全体の三十五・一%と六十二・八%を占めております。

三 歳 出

なお世帯当りの保険料は二万一千九百五十六円、一人当り負担額は五千九百七十四円であります。

四 一人当りの受と払い

これは受診率の上昇や医療費の引き上げ等のためであります。

五 受診状況

被保険者一人が一年間でどのくらい受診したかを見ますと、年々上昇し今年度は平均四・六回受診したことになります。

被保険者一人一人が健康に留意され明るい家庭づくりに努力くださるようお願いいたします。

1人当り保険料と療養諸費

年度	療養諸費	保険料	差引額
42	7,220	3,612	3,608
43	8,315	4,128	4,187
44	9,933	4,272	5,661
45	12,510	5,093	7,417
46	13,846	5,974	7,872

昭和45年度との歳入比較 (単位千円)

区 分	昭和45年度		昭和46年度		対前年増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比	
国民健康保険料	38,488	33.3%	42,443	35.1%	10.4%
使用料及手数料	11	-	10	-	△ 9.1
国庫支出金	69,692	60.3	64,666	53.4	△ 7.2
財産収入	430	0.4	442	0.4	2.8
繰越金	5,538	4.8	10,426	8.6	88.3
繰入金	500	0.4	1,000	0.8	100.0
諸収入	904	0.8	1,985	1.6	119.6
県支出金	16	-	22	-	37.5
計	115,579	100.0	120,994	100.0	4.7

昭和45年度との歳出比較 (単位千円)

区 分	昭和45年度		昭和46年度		対前年増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比	
総務費	5,796	5.5%	6,961	6.1%	20.1%
保険給付費	96,829	92.1	100,422	88.6	3.7
保健施設費	2,118	2.0	2,473	2.2	16.8
基金積立金	410	0.4	425	0.4	3.7
諸支出金	-	-	3,113	2.7	100.0
計	105,153	100.0	113,394	100.0	7.8

ガス会計

町営ガスは、需用家数二千二百五十九戸で前年度より十八戸増加し、供給量百一十万m³金額にして四百七十万円増加となりました。当年度の増加率は昭和四十五年一二・一％であるのに対し、暖冬異変にもかかわらず一四％の増加率となりました。これは湯沸器、風呂釜の延びが使用量の増加となつたのであります。

なお、当年度は保安の強化と需用家保全のため、本支管、内管の漏洩検査、消費機器の巡回点検を実施し保安に努めてまいりました。

昭和46年度ガス事業損益計算書

収 益	営業収益	営業雑益	営業外収益
44,007,005円	34,977,587円	8,484,871円	544,547円
費 用	営業費用	営業雑費	営業外費用
41,605,187円	29,241,848円	8,042,643円	4,320,696円
当年度純利益	2,401,818円		

簡水会計

円滑、豊富な水道水の給水を目標に努力いたしました。水源不足で区域の皆様に迷惑をおかけいたしました事もあり、この対策を今後一層強化していきたいと思っております。

飯塚沢下条地区、二百三十戸（前年比二戸増）川東地区、百三十三戸（前年比二戸増）計三百六十三戸、千七百十六人の給水人口となつております。年間有収水量九万一千m³、料金収入二百六十六万八千円となつております。

新たに白山地区簡水事業が認可を受け二年計画で着工し、八百六万円をもって、水源、ポンプ施設電気、上屋工事を実施いたしました。

昭和46年度簡易水道会計決算

区 分	予 算 額	決 算 額	前年度決算額
歳 入	11,469,000円	12,811,422円	3,981,481円
歳 出	11,469,000円	9,604,662円	1,668,458円
差 引		3,206,760円	2,313,023円

昭和四十七年度予算

の執行状況（上半期）

昭和四十七年度一般会計予算は当初五億三千六百九十二万七千七百円でしたがその後の予算補正により年度半ばの九月末現在予算規模は、六億三千五百八十六万八千八百九十三万三千円（十八％）増加となりました。

六月補正予算では、来迎寺保育所建設費二百五十万円、菅沼林道整備費二百五十万円、道路整備費五百二十五万円、役場消防自動車三百八十万円、塚山小グラウンド整備費四百九十九万円などが追加補正の内容であります。

七月における補正専決処分では小国町・越路町水道企業団負担金三百三十万円等の追加であり、九月補正においては、来迎寺保育所開設に伴う人件費等四百七十万円水道企業団に対する負担金千九百八十八万円、道路改良整備費千八百八十万円、岩塚小集中暖房工事を含む学校暖房改良費千四百九十万円等が追加補正されました。

予算の執行状況は、来迎寺保育所が九月に完成十月一日から新規開設されたほか、九月末現在で才入五十二・五％、才出三十四・一％がそれぞれ収入、支出済で道路整備工事費の一部を除いて主な建設事業費は殆ど契約済となっております。

今後の見通しは、人事院勧告に準じた職員の給与改訂に要する経費約千七百万円の補正が見込まれておりますので一層経費の節減に努め効率的な予算の執行を行なうて行く所存であります。

昭和47年度予算の推移

区 分	予 算 額 (補正額)	左 の 財 源 内 訳			
		特 定 財 源			一般財源
		国県支出金	地方債	その他	
当 初	536,927	61,427	41,000	44,905	389,595
補正1号(6月)	27,738	4,622	2,000	1,542	19,574
補正2号(専決)	3,430				3,430
補正3号(9月)	67,765	7,147	14,100	1,735	44,783
累 計	635,860	73,196	57,100	48,182	457,382

予算執行状況（上半期）

区 分	入			出			
	予算現額	収入済	執行率	予算現額	支出済	執行率	
町 税	132,884	77,359	58.2%	歳 会 費	17,035	7,888	46.3%
地方譲与税	5,000	2,019	40.3	総 務 費	82,949	37,280	44.9
自動車取得税	5,000	3,439	68.7	民 生 費	97,598	37,156	38.0
交付金	270,148	214,490	79.3	衛 生 費	46,884	21,625	46.1
交通安全対策	275	-	-	労 働 費	4,881	2,166	44.3
特別交付金	25,561	1,296	5.0	農林水産業費	81,874	9,983	12.1
分担金負担金	13,280	4,981	37.5	商 工 費	14,698	8,479	57.6
使用料手数料	26,826	2,614	9.7	土 木 費	113,224	21,620	19.0
国庫支出金	46,370	1,472	3.1	消 防 費	22,453	12,140	54.0
県支出金	7,834	8,013	102.2	教 育 費	109,193	40,258	36.8
財産収入	40	-	-	災 害 復 旧 費	5,282	3,500	66.2
寄 附 金	17,000	-	-	公 債 費	37,788	15,021	39.7
繰 越 金	16,214	16,214	100	諸 支 出 金	1	-	-
繰 取 入	12,328	2,237	18.1	予 備 費	2,000	-	-
町 債	57,100	-	-				
合 計	635,860	334,134	52.5	合 計	635,860	217,116	34.1

栄ある叙勲

と表彰

さる十一月三日文化の日、秋の叙勲にあたり、当町より元教育長永井繁蔵氏は栄ある叙勲を受けられました。また各分野で活躍されている方々に今年表彰がありましたのでご紹介します。

永井 繁蔵氏

勲六等瑞宝章



昭和四年来迎寺村役場書記を最初に昭和二十二年来迎寺村助役に就任、昭和三十年町村合併以来越路町民生課長、教育委員会事務局長を歴任昭和三十四年から昭和四十六年まで教育長として永年におたり地方自治に貢献されました。

新潟県市町村

教委連合会表彰

教育行政にご尽力された次の方々が、新潟県市町村教育委員会連

合会より表彰されました。



高橋友二郎氏



金子友衛氏



長谷川潤二郎氏

永井 繁蔵氏

(写真省略)

新潟県統計

協会総裁表彰

昭和三十五年以來、国勢調査、世界農林業センサス調査をはじめ国の統計調査、県の統計調査の数多くを調査員として従事、献身的

な努力が認められ表彰されました



岡村肇吉氏

社会保険庁長官表彰

西野部落

国民年金優良団体として社会保険庁より表彰されました。

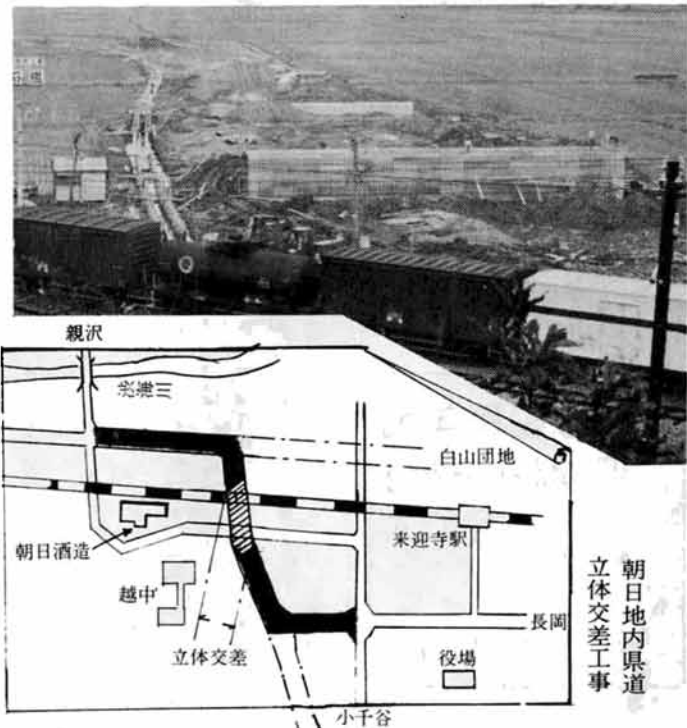
町道舗装と 県道改良工事

激増する交通量に対処し、事故を少なくし、明るい町づくりの一貫事業として、春以来、部落の主要幹線町道の舗装工事を進めてきました。冬將軍の到来を目前にして予定した全路線（一部残工有

り）の工事が終了いたしました。もうもうたる砂ぼこり、水溜りの多い悪路から立派な舗装道に生まれ変わり、通学通学に、又雨の夜道など安心して通行ができることとなりました。反面、道路が良くなったために車のスピードの出過ぎによる交通事故も懸念されますが沿道の皆様と運転者相互の一層の注意が大切となります。

今年度予算で実施された舗装事業は、路線数二〇本、延長四、三七二米、面積二二、一八五m²、事業費三千万円となりました。

この結果前年度まで〇・五パーセントの舗装率が一挙に五倍強の二・七パーセントになりました。



県道長岡片貝小千谷線踏切除却事業（朝日地内）

昭和四十九年三月工事完了を目前にして朝日地内、来迎寺地内の両面から工事を進めています。

この工事は朝日地内（朝日酒造脇）の踏切を取り除き、新に立体交差道路に改良しています。

越路町発展に大きな役割を果す工事で一日も早い完成を願っています。

衆議院議員 選挙 参議院議員

投票日 衆議院 12月10日
参議院 12月17日



棄権は絶対にやめましょう。清き一票あすをきずく

□衆議院議員選挙が次の日程で実施されます。
告示 十一月二十日
投票日 十二月十日
□参議院議員補欠選挙が次の日程で実施されます。
告示 十一月二十四日
投票日 十二月十七日
□どちらの選挙も、国政をまかす大切な選挙です。棄権のない明るく正しい選挙ができますよう一人一人が努力したいものです。
出陣中の人には、不在投票票を、すすめてください。不在投票用紙の請求用紙は役場にあり。出陣先に郵送してください。

「ごみ」の収集についてお願い

年末、年始は休みます
(12月30日～1月4日まで)

冬期間はごみの収集が困難になる季節です、どうしたらみなさんにご迷惑をかけずに、収集できるか検討していますが、冬のごみの処理について、ぜひご協力をお願いします。
① ごみは必ず指定した時間に出して下さい。留守がちのご家庭のみなさんは、近所にごみの持ち出しを依頼して、必ず指定日時にしてください。
② 降雪期には、収集車が入れない地区があります。収集場所が遠い地区があります。

新鋭の除雪車を配置



近年急速に激増しました道路の交通に対処するため、町ではこのたび雪積地の除雪車に対する国庫補助の交付を受けて装輪式の新鋭車を整備いたしました。
従来のキャタピラ式の除雪車よりスピードアップを目指し、踏切の待機を省き、作業の迅速化をはかるものであります。
この機械の整備により現有の除雪車三台と併上車によって、昨年の小雪をしのぐ豪雪に冬期間の道路の交通を確保しようとするものです。
除雪作業は早朝より日中に行われますがスピード化のためには沿線の町民の皆さんのご協力が必要です、次の点にご注意下さい。
▼冬期の臨時駐車区域図を後日配布いたしますが駐車には違反しないよう充分ご注意下さい。

今月は国民年金 保険料の納付月です

納期日 12月22日

冬休み中の子供さんの生活指導について

正月にまたがるこの休みは、家庭では、お客様の出入りも多く、ともすると子供さんに目ごとかない点も多いかと存じます。十分気を配られまして事故なく一家楽しい正月を迎えて下さい。この期間子供さんを家庭にお返しするわけですが生活規律が乱れることなく、元気に三学期登校さしていただくため、次の点に留意されてご指導下さい。

- 家庭のよき一員として「家庭の日」を設定し明るい家庭づくりに努める。そのため家庭内のだんらん工夫、対話の機会をつくらせて下さい。
- 子供に家族の一員である自覚をもたせる意味で仕事の分担とその責任をもたせる。
- 不慮化、事故防止
節度ある生活の実施、服装、ことばづかい、交友関係など良く観察し、必要に応じて適切な指導を、交通マナーの徹底したしつけ、スキー事故防止
- 火災事故防止
- 子供にほこりを
けじめある生活を
うわべのカッコヨサよりも、ゆたかな厚みのある子供に
子供にあうお年玉を考えて与えるように

みんなの注意と協力で 交通事故や盗難事故防止

年末が近づくと自動車と人の動きが一段と激しくなります。雨や雪が降る日は、とくに交通事故がふえます。又空巣忍び込み、自動車の盗難などの事件が多発する時期です、交通事故や盗難事故をなくして明るくお正月を迎えてください。

- ① 無理な運転をやめましょう。
- ▼忘年会、新年会などお酒を飲む機会が多くあります絶対に飲酒運転はしないこと。

道祖神と地蔵様

「道ばたの神と仏」と題した連載も今回で十三回目となったものと学問的に書くことを目的としたものではなく、自動車時代を迎え、高速道路やバイパスの建設が盛んなこの頃、昔懐かしい旧道とともに、その道標ともいわれる道祖神や地蔵様に昔の想いをめぐらせてみたのである。おわりにまともとして、気づいた点を少しして連載を終ることにしたい。

まず道祖神と地蔵様の分布であるが、岩田以南塚山地域にかけては道祖神があり、飯塚以東朝日・来迎寺地域にかけては地蔵様が広がったが、信濃川沿い地域にはそのほと

みんなそろって 明るいお正月を 歳末たすけあい募金

今日のいちじるしい経済発展のかけには、生活にお困りの方や、

わたさきり老人、心身障害者など多くの方がおります。暗い苦しい日々の生活とたたかっている人々が、少しでも明るいお正月を迎えてもらうため「歳末たすけあい運動」が十二月一日から行なわれています。歳末の時期にあたり、皆さんのあたたかいご協力を心からお願ひ申し上げます。募金については、大字総代を経て各家庭へお願いいたしますのでご協力ください。

神と仏(13)

域には道標的な道祖神や地蔵様が一体もなかったことである。このことは、文化の経路を知るうえに興味深い現象であり、今後の研究課題ともいえる。次に「道祖神」が懐かし、また珍らしいといふこととで問ひ合せがあったことである。これは学名では「双体道祖神」と呼ばれているが、その土地土地により道祖神と地蔵様が、道六神・道楽神・塞の神・岐神・ほんだれ様・きんか様などと呼ばれている。当町ではそのほと

(深井義春)